

目次

	頁
新しい高密度位置星表—PPM星表とACRS星表—	宮本昌典 224
天文学誌の興亡：外伝	福江純 230
天文学最前線……銀河中心に見つかった奇妙な赤外線五ツ子星・明るい円盤における準周期振動・ラピット・バースターのタイプ2X線バースト・2S 0114+650「ぎんが」衛星による観測・プロルセン・メトカーフ彗星の自転を捉える・宇宙論的距離に対する重力レンズ効果・白鳥座X-1からの鉄輝線	239
「JNL T 往復書簡シリーズ」 往信：日本の天文学における問題と解決	E. L. Turner 243
返信：「エドウィン・ターナ氏」へ	安藤裕康 244

学会だより	242
雑報……変光星名が付けられた新星など・第二回天文教育普及のための指導者講習会・カーネギー協会理事に京セラ会長稲盛和夫氏が就任	245
お知らせ	246
天文観測技術の最前線(19) 宇宙で開く大型パラボラ：VSOP衛星の展開アンテナ	250

—表紙説明—

いろいろな位置星表の誤差の経年変化(作図は鈴木駿策氏のご好意による)

(p. 224 宮本氏記事参照)

地人書館の天文書●好評発売中

未完の宇宙 形態の進化と発展

L. B. ヤング著 相川隆行訳 ¥2400(〒310)
宇宙創成から生物進化までを形態を鍵に統一的に見る。

大学教授 そのあまりに日本的な

桜井邦朋著 ¥1600(〒260)
大学の研究と教育の現実を直視しあるべき姿を考える。

オゾン・クライシス

S. ローン著 加藤圭他訳 ¥2800(〒310)
フロン・オゾン問題の辿った15年の紆余曲折を詳細に。

炭酸ガスと地球環境の変遷

長尾隆・星野常雄著 ¥2000(〒260)
地球の歴史の中で大気中のCO₂濃度の最も小さい時代に急速な進化をとげた人類にとって、その変化はどんな意味があるのか。大気中のCO₂濃度が地球の気候や動植物に与えた影響を著者独自の立場から考察する。

証人席の微量元素

J. レニハン著 山越幸江訳 ¥2200(〒260)
砒素、沃素、水銀、鉛、カドミウムといった元素は、たとえ「微量」であってもその占める割合が崩れると生命体に深刻な問題をひき起こす。本書はその興味深い例を過去の歴史、医学、犯罪の中から取り上げる。
(定価はいずれも税込)

〒162 東京都新宿区中町15 振替東京6-1532 ☎(3235)4422

第35回夏期天文講座

最新の宇宙論

高校生以上の方を対象に、観測から理論まで最新の宇宙論をまとめた講演会を企画致しました。多数のお申し込みをお待ち致します。

日時 平成3年8月19日・20日・21日(3日間)
午後6時30分～7時50分(1時間20分)
会場 天文博物館 五島プラネタリウム ドーム内

- 8月19日(月) 巨大望遠鏡で探る宇宙
国立天文台 安藤 裕康 氏
- 8月20日(火) インフレーション宇宙
国立天文台 佐藤 勝彦 氏
- 8月21日(水) ここまでわかった宇宙論
京都大学 佐藤 文隆 氏

- 定員 各講座 400名
 - 受講料 3講座(割引)……………1,800円
2講座(組み合わせ自由)………1,400円
1講座……………700円
 - お申込み
7月15日より五島プラネタリウム窓口にて受講料を添えてお申し込み願います。また、当日にお申込みいただくこともできます。
 - お問い合わせ TEL 03-5485-3990
- 財団法人 天文博物館 五島プラネタリウム